



平成28年6月定例会終わる

第18回 三次市議会議長杯
中学校野球大会
(三次市宮球場 7月23日)

- 02 こんなことが決まりました
- 03 予算審議結果
- 04 委員会審査
- 05 市政を問う 13人が一般質問に立つ
- 14 議会のうごき



三次市議会のホームページもご覧ください。

HPアドレス

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

▶市議会のページ

【三次市議会のページ(携帯サイトではありません)へアクセスします。】

ました

6月定例会を6月17日（金）から6月29日（水）まで開催し、議案8件及び意見書案2件を原案のとおり可決としました。

6月定例会

一部改正された条例

■ 税条例

全員一致

「地方税法等の一部を改正する等の法律」が、平成28年3月31日に公布されたことに伴い、一部改正する。

その主な内容は、地域決定型地方税制特例措置（通称…わがまち特例）の規定が追加されたことに伴い、国の基準を参酌し、本市の割合を条例で定めるほか、引用条項の整理をする。

■ 都市計画税条例

全員一致

「地方税法等の一部を改正する等の法律」が、平成28年3月31日に公布されたことに伴い、一部改正する。

その主な内容は、地域決定型地方税制特例措置（通称…わがまち特例）の規定が追加されたことに伴い、国の基準を参酌し、本市の割合を条例で定めるほか、引用条項の整理等をする。

■ 家庭等保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

全員一致

「建築基準法施行令及び地方自治法施行令の一部を改正する政令」が、平成28年6月1日に施行されたこと、並びに「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令」が、平成28年4

月1日に施行されたことに伴い、一部改正する。

その主な内容は、小規模保育事業A型を行う事業所及び保育所型事業所内保育事業所において、避難用設備の構造要件の改正、及び保育士配置要件の弾力化を図る。

■ 共同利用施設設置及び管理条例

全員一致

吉舎海田原共同作業場を行政財産から普通財産に変更することに伴い、一部改正する。

その内容は、別表中「吉舎海田原共同作業場」の名称及び位置を削除する。

その他の議案

■ 指定管理者の指定について

全員一致

広島ふるさと村の指定管理者として、広島ふるさと村運営推進協議会を指定する。

■ 三次市監査委員の選任の同意を求めること

全員一致

とことについて
升本 美知子（十日市町）
（任期は平成28年6月30日から4年間）

意見書

■ 地方財政の充実・強化を求める意見書

全員一致

政府に対する意見項目

- 1 社会保障、被災地復興、環境対策、

地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。

- 2 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。

- 3 地方交付税における「トッププランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止すること。または、これ以上、拡大しないこと。

- 4 復興交付金、震災復興特別交付税などの復興に係る財政措置については、復興集中期間終了後の2016年度以降も継続すること。また、2015年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定の方を引き続き検討すること。

- 5 地域間の財源偏在性の是正のため、地方遍在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。

こんなことが **決**まり

同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応を図ること。

6 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」、「重点課題対応分」及び「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換を図るため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。

7 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

■教育予算の拡充を求める意見書

全員一致

政府に対する意見項目

1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

平成28年度 一般会計予算の補正 (第1号)

補正額 1,404万円の減額 **総額** 377億6,596万円

補正内容

《歳入》	・県支出金	3,102万円
	・繰入金（財政調整基金）	212万円
	・市債	▲1,550万円
《歳出》	・国庫支出金	▲3,168万円
	・農業振興補助金	1,904万5千円
《地方債》	・林業振興補助金	1,197万5千円
	・国民健康保険特別会計繰出金	180万6千円
	・文化財保存事業補助金	113万4千円
	・みらさか土地区画整理事業	▲4,800万円
《地方債》	・土地区画整理事業	ほか

(▲は減額)

平成28年度 特別会計予算の補正

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計 (第1号)	480万6千円	69億2,561万円

委員会審査

(委員長報告)

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に審査付託となりました議案1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る6月23日に委員会を開催し、担当部長等の出席を求め、現地視察も含め慎重に審査いたしました。

議案第57号「指定管理者の指定について」は、審査の結果、全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見などの状況について、その主なものを申し上げます。

ます。

1 指定管理施設を直営とした際には、統合、処分、譲渡等の方向性について明確な基準を定めることが必要である。更に、再び指定管理者制度を導入する場合、今後においても、直営に戻した経緯を踏まえ、その方法が適正であるか慎重に検討し、導入後は、適切な指導や必要に応じたサポートに務められたい。

2 ファシリティマネジメントの観点から、市有施設の利用実態や維持管理経費等収支状況を検証する中で問題点と課題を整理し、指定管理者と効果策や改善策等を十分協議されたい。

教育民生常任委員会

今期定例会において、教育民生常任委員会に審査付託となりました議案3件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る6月23日に委員会を開催し、担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第53号「三次市税条例の一部を改正する条例(案)」外議案2件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

議案第55号「三次市家庭的保育事業等の設備及び運

営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(案)」については、家庭的保育事業における小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の施設基準、職員の配置基準や資格要件について緩和されたことに伴う市条例の一部改正である。

この職員の配置基準や資格要件に関して、附則第7条では、幼稚園教諭若しくは小学校教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者も「保育士とみなすことができる」とされているが、保育士とは異なる資格であり、保育の質の低下を招くことなく、より向上をめざすために、子育て支援員等の研修受講など、あらゆる支援を提供されたい。

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に審査付託となりました議案1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る6月23日に委員会を開催し、担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第56号「三次市共同利用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」については、審査の結果、

全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

同条例に規定されている「吉舎海田原共同作業場」以外の6施設についても、三次市公共施設等総合管理計画の方針に沿って、早急に取り組まされたい。

予算決算常任委員会

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案2件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る6月27日に委員会を開催し、担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第58号「平成28年度三次市一般会計補正予算(第1号)(案)」及び議案第59号「平成28年度三次市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(案)」については、全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び

意見について、その主なものを申し上げます。

1 平成30年度からの国民健康保険制度の改正は、市民に重大な影響を及ぼすため、制度改正の内容や保険料の算定基礎等の概要については、速やかに市民及び議会へ周知するとともに、保険料率の決定にあたっては、過大な負担にならないよう配慮されたい。

また、予防・健康づくりの重要性やシステム構築に伴う個人情報保護について十分留意しながら事業実施されたい。

市政を問う

【平成28年6月定例会 一般質問】

6月定例会では、13名が市政をたどしました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を製本の後、議会事務局、各支所、三次市立図書館及び分館に常設します。

また、三次市ホームページ（アドレスは下記のとおり）では会議録と本会議の録画映像をご覧ください。

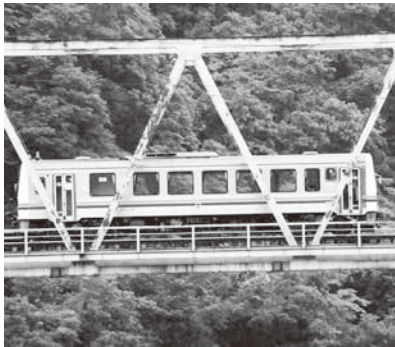
なお、一問一答方式で一般質問を行っていますが、紙面の都合上まとめて記載しています。

HPアドレス <http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

→ 市議会のページ → 市議会議事録
→ 三次市議会インターネット配信

答弁1

観光利用と日常利用の両方をあわせて促進する必要がある



三江線（作木町 伊賀和志）

三三三線検討会議では、三三三線継続
白石地域振興部長

質問1

三三三線の今後は



齊木 亨
真正会

現在、三次駅から江津までの直通便は、午前では一番列車しか無く、二番以降は途中で停車し、午後には江津に到着する。そのため観光ツアーを組むことが限られる。観光の企画が設定しやすい運行ダイヤに改正することで、通勤や通学以外に沿線の観光地や陰陽の交流につながるツアー客を招き入れることができると思うが。

質問2

カヌー公園の入浴施設を魅力ある施設にするには

今回計画される入浴施設事業は、カヌー公園利用客へのサービスになると考えられている。しかし、入浴客を増やさなければ赤字になり、指定管理者の負担になる。そのためには一般客も利用できることが大事である。将来、国道375号線の改良が済めば立ち寄り客も増える。誘客の為、魅力ある施設にするには、薬湯やサウナなどを考えることも必要ではないか。

答弁2

施設の利用促進を全体的に考えていく

ユズ湯など季節に応じた特徴を持たせることについて、指定管理者とも検討している。

白石地域振興部長

カヌー公園は、みよし田舎ツーリズム協議会に加入しており、複数の施設が連携して宿泊型・着地型の新しい農村ツーリズムプログラムを市と一緒に考えていく。

の可能性を高めるため、臨時列車運行や観光客の使いやすいダイヤ設定など様々な方策を持ち寄り検討している。これを報告書としてまとめ、三三三線改良利用促進期成同盟会で三三三線継続の判断材料としていく。



鈴木深由希
真正会

質問 1
投票所の見直しには適切な
支援対策を

投票所の見直しについては、高齢者や免許を持たない交通弱者の立場に立ち、地域の実情に応じて、期日前投票所の巡回や投票所までの移動を支援するなど、有権者が適切に選挙権を行使できる配慮を考えているか。

答弁 1
投票しやすい環境づくりに
配慮する

福永選挙管理委員会事務局長
選挙は民主主義の根幹をなす大切なものであるので、選挙人が投票しやすい環境づくりに配慮する。投票所の見直し案については、今後も住民自治組織などと協議を行い検討していく。



質問 2
障害者、高齢者にやさしい
公共施設の整備を

障害者差別解消法で合理的配慮が義務付けられ公共施設の整備が求められる。2階建てのコミュニケーションターは高齢者や障害者が利用しにくく、行事の参加を断念されている。災害時の避難指定場所であることも鑑みエレベーターの設置が必要と考えるがいかがか。

答弁 2
今後の課題であると
認識している

白石地域振興部長
現在の対応は、その施設の職員や参加者の方の手助けや介助などの助け合いにより高齢者や障害者の参加の機会を確保しているが、エレベーター等の設備整備の必要性は認識しており、今後の課題として考えていく。



助木 達夫
真正会

質問 1
鵜匠の身分保障を

今回の鵜の大量死を受け、鵜匠の熱意だけでは伝統文化は守れない厳しい現実がある。一足のわらじを履いて365日、毎日飼育場に通い、守り続けるのは限界がある。かがり火を消さないためにも鵜匠の身分保障を含め、市長の任期中に課題の検討を。

答弁 1
伝統鵜飼の火を消しては
ならない

増田市長
行政として何ができるか、また何をすべきか。いろいろ課題があるので一つひとつみなさんと協議し、検討していく。

質問 2
東京オリンピック・パ
ラリンピックの事前合宿誘致を

リオオリンピック・パラリンピックへ出場の金藤選手、川本選手の二人の活躍を「三次」の名を知ってもらう絶好の契機ととらえ、どのように応援・サポートをするのか、事前合宿候補地が紹介されるリオへのガイド登録はされたのか、誘致は成功しそうなのか、進捗状況はどうか。

答弁 2
トップセールスを
行っている

白石地域振興部長
出場選手の応援・サポートは、懸垂幕や広報みよしで紹介等を行い、競技が夜に開催のため、競技団体、出身校の関係者ともどのような応援ができるか検討していく。また、ガイド登録は、事前キャンプ地ガイドなどへ登録作業を進めている。三次独自で英語、フランス語、日本語のパンフレットを作成し、PR活動をしっかりしていく。



三次鵜飼



重信 好範
清友会

質問 1
広島ふるさと村みわの里の
現状並びに運営計画は

広島ふるさと村みわの里は、三和町の観光の拠点となり、年間を通じて他市からの宿泊も見込める重要な施設になりえると考える。近年の広島ふるさと村みわの里の現状並びに今後の施設の概要と運営計画を伺う。

答弁 1
三和町の地域資源を楽しめる交流拠点施設として活用しつつ

勝山三和支所長
利用者の減少により、平成27年から直営施設となっていたが、広島ふるさと村運営推進協議会を設立し、地元民間企業の力を活用して、体験プログラムや地元食材・ジビエの提供をしていく。また、スポーツ合宿に加え、企業研修などの新たな顧客開拓をしていく。

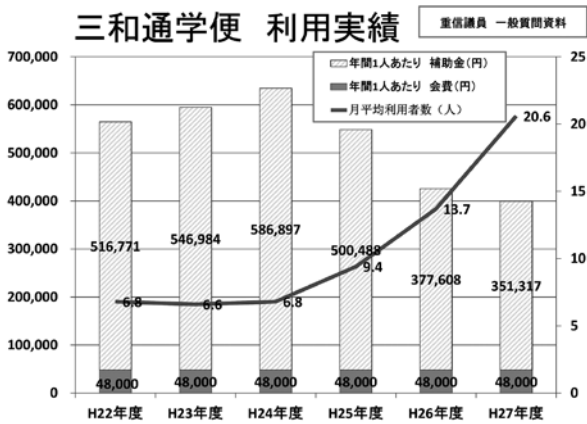
質問 2
三和町から地元高校通学の交通対策は

三和中学校を卒業して、向原高校・吉田高校へ30数名の方が通学し

ている。その内、24名が安芸高田市の補助により、タクシー等で甲立駅まで送迎がなされている。本市も三和町から地元高校へ通学のできる交通対策を伺う。

答弁 2
全市的な課題として検討していく

瀬崎副市長
昨年度、三次市地域公共交通網形成計画を策定し、今年度以降、具体的な検討を進めていく。その際、三次市地域公共交通会議などで通学手段の確保についても全市的な課題として検討をしていく。利用される運行ダイヤや路線、運賃が設定できるかなど様々な観点から研究していく。



質問 1
地方債残高を減少させた一番の要因は

支出を削減しながら債務残高を減らすことは無理なく行えるが、三次駅周辺整備事業や新庁舎・市民ホール建設等の支出を伴う大型事業を行いながら地方債残高を減らしていくことができた一番の要因は。



桑田 典章
清友会

答弁 1
償還額以上の借り入れをしなかった

部谷財務部長
合併以降、その年度の償還額以上の借り入れはしないようにしてきた。また、財源確保では、国の経済対策に応じて事業を前倒しして実施してきた。そのほか、国の交付金では、職員削減などの行財政改革などが評価され、交付金額が多かった。

質問 2
土砂災害防止法第8条第3項の対応は

土砂災害防止法では、警戒区域における円滑な警戒避難を確保する上で必要な事項を住民等に周知させるため、これらの事項を記した印刷物の配布その他の必要な措置を講じなければならぬとしているが、ハザードマップで対応するのか。

答弁 2
常日頃から避難について考えていただきたい

福永総務部長
県から警戒区域等の指定を受けた場合、翌年度にハザードマップ作成や内容変更を行っている。その際には、地元参加のワークショップ等を開催し、指定された危険箇所、避難所、避難経路などの確認をしていたとき、ハザードマップに掲載してもらっている。



山村恵美子
清友会

質問 1
患者に理解され、信頼される市立三次中央病院の診療体制を

市立三次中央病院は、急性期医療充実のため、かかりつけ医との連携を進めている。通常は、かかりつけ医の診察を受け、紹介状を持って三次中央病院を受診することになるが、かかりつけ医の紹介状を持たずに、直接三次中央病院を受診される患者もある。紹介状がないことで患者に不利益が生じないよう、受付時に丁寧な問診を行うことが必要ではないか。

また、患者の不安を軽減するため、職員の接遇面での向上を図るべきと思うが、今後の取組を伺う。

答弁 1
受付に総合案内を設置する

山本市民病院部事務部長
受付に「総合案内」を設置し、職員を常駐させて問診を行うこととする。

また、接遇については、これまで



市立三次中央病院

も研修を行っているが、一朝一夕に身に付くものではなく、日々の小さな思いやりの心の積み重ねが大切である。接遇の基本はあいさつと考え、あいさつ運動に取り組んでいる。あいさつ、笑顔を通して、患者さんと心が通い合う温かみのある医療環境づくりをしていく。



保実 治
清友会

質問 1
特別支援教育の充実を

発達障がいや知的障がいの子どもを、保育所から高校まで継続して支援する「スクールサポートネットワーク」の立ち上げを提案する。広島県立庄原特別支援学校を中心に、市内すべての学校が支え合う仕組みを作ることによって、現場の特別支援教育が充実し、保護者の安心につながるのではないか。

答弁 1
庄原特別支援学校の教育相談主任に相談・指導を受けている

松村教育長
現在、庄原特別支援学校と組織化はしていないが、各小中学校、教育委員会と連携している。学校の要請により特別支援学校の教育相談主任がその学校を訪問し、特別な支援を要する児童生徒の状態に応じた、より効果的な指導等について相談や指導を受けている。これからもこのような連携を深めていく。

質問 2
ため池の整備を

西日本を中心に全国に約20万カ所設置されているが、自然災害が相次ぐ中、決壊すれば施設周辺に大きな水害を招きかねない。本市の調査対象数とその結果はどのようになっているか、今後の対策はどのようになっているか。

答弁 2
防災・減災対策の強化に努める

花本産業環境部長
平成25年から平成27年の間に、県が行った詳細耐震診断は8カ所、簡易耐震診断は856カ所、市が行った簡易耐震診断は342カ所。県の簡易耐震診断の公表は、国の動向を踏まえ、現在検討中であり、当面の間、市においても同様の取扱をすることとなっている。大規模地震に対するため池の安全性を検証し、ハード対策とため池管理者による低水位管理などのソフト対策を効果的に実施することで、防災・減災対策の強化に努めていく。



堤体工事



福岡 誠志
ともえ

質問 1 歯科節目検診の実施を

近年、口の機能が全身の病気に影響していることが明らかになってきている。当市の歯科検診率は25・4%であり全国平均の44・6%と乖離が一層広がっている。医療費の適正化や市民の健康管理に資する節目の年齢で歯科検診を実施してはどうか。



答弁 1 来年度実施を検討している

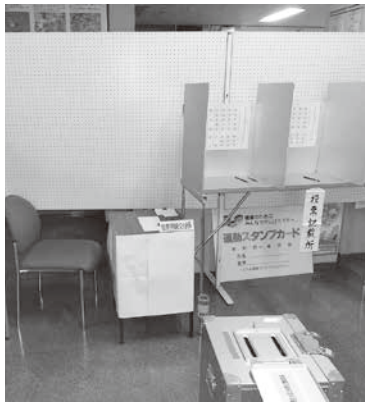
増田市長
節目検診は、来年度実施に向け、計画を検討している。受診は、個別に歯科医院に行っていたり、個人負担についても計画と合わせ検討し、受診しやすい環境を整備していく。

質問 2 市民が利用しやすい投票環境を

行革推進計画では投票所数を減らす方向である。投票機会確保の観点から選挙の移動支援、人が集まる場所へ期日前投票所を設置する等、社会情勢の変化に対応した投票環境の利便性向上対策を施すのが行政の責務ではないか。公選法改正に伴う本市の対応は。

答弁 2 選挙啓発につながる取組を積極的に進める

福永選挙管理委員会事務局長
ショッピングセンターなどへの投票所の設置については、ネットワーク構築、経費、セキュリティの面から、慎重に考える必要がある。期日前投票の時間拡大は、有権者のニーズや投票実態を踏まえ、拡大の実施は見送るとした。また、子どもの投票所への同伴は、子どもに実際の投票を見せることで、有効な啓発になると考えるため、認めていく。



投票所



大森 俊和
市民クラブ

質問 1 三次町のまちづくりは

三次町の歴史まち事業により、石畳や街路灯を整備したが、町がもつと元気が出る様、何らかの取組をすべきではないか。

答弁 1 文化会館跡地に拠点施設などを整備していく

増田市長
文化会館跡地に観光交流などの拠点施設や三次本通りにアクセスしやすい道路を整備し、観光客の回遊を



三次本通り

質問 2 栗屋町の急傾斜地対策は

促すよう計画している。地域のみなさんと力を合わせ、賑わいを復活させていきたい。

答弁 2 危険な所について事業要望をっていく

上岡建設部長
現在、鍋屋谷川ほか8カ所が整備されている。平成24年度からは中ノ村川4号に砂防堰堤3基の整備が進められている。また、平成28年から広島県砂防アクションプラン2016に基づき、鍋屋谷川の追加整備が計画されている。次期計画では中ノ村川1号を要望している。

花本産業環境部長
亀谷地区の治山事業では、平成27年度に県が県営治山事業を採択し、測量設計をした。平成31年度に完成見込となっている。また、馬行谷地区は、平成26年に要望をしているが事業実施は未定のため、引き続き要望していく。



岡田美津子
公明党

質問1 障がい(児)者の ショートステイの拡充を

ショートステイを申し込もうとしても、すぐに満床となり、思うように利用できない。定員の絶対数の不足か。介護・介助者の急な入院やいざという時に対応できるのか不安の声がある。また、レスパイトケアの必要性からも受け入れの拡充がでないか。

答弁1 本市の利用者の声を 県へあげる

日野福祉保健部長
県においても、満床により利用者が思うように利用できない等は、県全域の課題ととらえ、県の障害者プランで県立施設の機能強化を掲げている。県は短期入所の適正な対応を図るために、県内市町の実態調査をされているので、本市の利用者の声を県へあげていく。

質問2 食品ロス削減に向けての 取組を

日本では年間約千七百万トンの食品廃棄物が発生し、この内の約四割



が「食品ロス」と推計されている。世界人口の増加による食糧不足、焼却処分のための二酸化炭素の排出など大きな問題である。食育や環境教育での啓発を進めるべきと考えるが。

答弁2 啓発活動を積極的に 行う

日野福祉保健部長
食育の啓発は、関係部署と連携し、ふるさとランチで保育所、学校への啓発をし、出前講座でエコレシピ、エコッキングを紹介し、食材の有効活用を啓発している。

花本産業環境部長
様々な要因で食品ロスが発生するが、家庭系廃棄物が食品廃棄物の半分以上となっている。原因は、消費者の過度な鮮度志向と言われている。市は、環境基本計画を策定し、食品ロスも含め循環型社会の実現に向け、市民の意識と行動を変えてもらうことが必要と考えており、今年度作成する小学生版の啓発ブックにこの問題を盛り込み、啓発・周知を行っていく。



弓掛 元
三次志士の会

質問1 企業誘致促進を

企業誘致については、人脈、見識を持つ市民から公募して企業誘致プロジェクトチームを立ち上げてはどうか。また、京セラ撤退に関し、退職される方が市外に流出しないよう関係団体とも連携して協議会を立ち上げてはどうか。

答弁1 どういう方法がとれるか 検討していく

増田市市長
市内で頑張ってこられた方のご協力をいただいて進めていくことは大変重要と考えている。どういう方法がとれるか模索しながら、オール三次の中で展開していく。

花本産業環境部長
京セラ従業員の再就職支援組織を関係機関と立ち上げる。現在最終準備段階である。

質問2 三次町の諸問題への 対応を

願橋の開通に伴い大変便利になった反面、交通量の増大により三次町

内の狭小な道路の危険性が問題となっている。また、寺戸から畠敷の県道和三次線・寺戸から松原への街路灯が不足している。子ども達の安全面からもそれぞれ対応が必要と考えるが。

答弁2 安全対策等は 実施している

上岡建設部長
交通安全対策として、一方通行や速度制限の交通規制や交差点前後にカラー舗装等による注意喚起、側溝のふたがけによる道路拡幅を行っている。また、街路灯の設置は、設置基準に基づき設置しており、この設置基準に合わない箇所については、防犯灯設置で対応をお願いしている。



三次町内の狭小な道路



吉岡広小路
三次志士の会

質問 1
議員定数・職員定数の削減を

人口が類似規模の団体の議員定数は20名程度で、多くの市民も議員定数削減を求めている。同時に職員数についても、医師や看護師などを除く一般職で類似団体より140人程度多い。議員や職員削減を行い、10億円以上の行革効果をあげるべきと考えられるが。

答弁 1
議員削減は議会として結論を出されるべき

議員削減については、今定例会において設置された議会改革推進特別委員会が時間をかけて、議会としての結論を出されるべきと考える。

高岡副市長

現在の定員管理計画561人が、第2次総合計画を着実に実行していくうえで、現在考え得る最適な形であると考えている。



三次市役所庁舎

質問 2
議会控室の窓設置事業は中止か

平成27年度予算で新庁舎7階議会控室の窓設置事業が予算化されていたが、現在も工事が行われていない。私はこの工事に反対し、予算案にも反対したが、行政は工事を中止したのなら、その理由や反省を詳しく市民や議会に説明すべきと考えられるが。

答弁 2
情勢を判断し、執行しなかった

窓枠設置事業は、当初予算の審議において、反対意見等も聞かれ、情勢に応じた適切な判断のもと実施を見送った。その予算の減額は、3月に行っており、ご了承をいただいたと思っている。

部谷財務部長



伊藤 芳則
日本共産党

質問 1
住宅リフォーム支援事業補助金の充実を

この支援事業は、市内の多くの小規模事業者も含め、生活関連型事業で市に還元できる「地域循環型経済」である。この間多くの方が利用し、地元業者も喜ばれている。利用状況、申請件数と経済効果はどのようになっているか。

また、下水道の新設が行われているが、接続工事費用が高額になり、接続が進んでいない。リフォーム支援事業補助金の利用、または新たな補助金制度はできないか。

答弁 1
補助金はその時の状況を判断し、柔軟な対応をしていく

花本産業環境部長
平成27年度の件数は、179件の交付決定をし、総額3040万9千円を交付した。その経済効果は、約4億3千万円の補助対象事業費となると捉えている。補助金はその時の状況を判断し、柔軟な対応をしていく。また、リフォーム支援事業は、住宅と店舗の宅内の下水の水回りに使用していただける。

質問 2
尾関山駅駐車場の整備を

三次町の玄関口として、尾関山駅に駐車場を整備してはどうか。

答弁 2
検討していく

白石地域振興部長
駐車場の整備も含めて、利用者数の増加策について、三江線に関する検討会議で検討していく。



尾関山駅

市政を問う

その他の質問

齊木 議員

問 落石の恐れのある箇所への対策はどのようにしているか。

答 一時対策は、注意看板設置、浮き石除去等を行い、安全が確保できない場合は通行止の措置を取るようになる。二次対策は、原因に応じてストーンガード、ロックネット等の対策をしている。

鈴木 議員

問 指定避難場所の安全についての周知はしているか。

答 避難場所の周知は、ハザードマップや防災の手引き改訂版の配布や地域の防災訓練、市の出前講座等で確認をいただいている。

助木 議員

問 児童生徒に鵜飼の乗船体験を1回はさせてはどうか。

答 夜間になるためPTAや地域の子供会活動の一環として進めていきたい。

重信 議員

問 不登校の対応策はどうしているか。

答 各学校で家庭としっかり連絡を取り、個別の状況を把握する中で、指導、支援を行い、学校復帰を目指して取り組んでいる。

桑田 議員

問 市の防災一斉メールに登録するメリットと気象庁等が発信する情報との違いはどこか。

答 記載の内容に地区・地域名を明記できるため、より細やかな情報を発信できる。

山村 議員

問 これからの森づくりは、自然環境と林業経営の両立を目指す近自然森づくりを推進していくべきと思うがどうか。

答 甲奴で地域と連携し取り組まれている森林管理の手法について、新たな森づくりのモデルとして、現地見学等させていたいただき研究していく。

保実 議員

問 みよし田舎ツーリズムの本市の状況はどうか。

答 修学旅行を始め、教育旅行の誘致に向けた取組の方向性を出していきたい。

福岡 議員

問 歯科検診の重要性を周知するため、歯と口腔と健康に関する条例を制定してはどうか。

答 国の法律と県の条例を両輪として、本市は個別の計画を進めており、条例制定の構想はしていない。

大森 議員

問 学校教員の長時間労働についてどのように対応されているのか。

答 業務量を見直し、報告書等の軽減や100名程度の独自の市費教職員配置を行い、軽減措置を図っている。

岡田 議員

問 学校での性同一性障害の認識と対応について伺う。

答 保健体育、道徳の時間や学級、ホームルーム等でいかなる理由

でもいじめや差別を許さない取組や人権教育を進めている。

弓掛 議員

問 個性的な地元店舗・企業を紹介するガイドマップが必要では。

答 観光ガイドマップや市内事業所が発行している情報誌などがある。また、「みよし産業応援事業」の中にも、商店街や団体等で実施されている情報発信事業に対する支援もあるので、活用していただきたい。

吉岡 議員

問 主権者教育という在校生の教育も含め、高校に期日前投票所や不在者投票所を設けてはどうか。

答 県選挙管理委員会から高校生限定の投票所の設置は、公平性の観点から実施は難しいと聞いている。



特別委員会が設置されました

次の3つの特別委員会が設置され、各委員会の委員長及び副委員長が決まりました。

● 行財政改革調査特別委員会

市民のニーズにきめ細かく応えることのできる持続可能な行財政運営の実現に向け、市民・行政・議会が一体となり推進するため設置しました。

委員長 新家 良和 **副委員長** 助木 達夫
池田 徹・吉岡広小路・杉原 利明・桑田 典章・黒木 靖治・重信 好範

● 議会改革推進特別委員会

市民に信頼され市民の負託に応えうる議会の確立に向け、議会基本条例の検証後の課題や新たな項目の検討をするため設置しました。

委員長 穴戸 稔 **副委員長** 福岡 誠志
竹原 孝剛・齊木 亨・桑田 典章・横光 春市・黒木 靖治・弓掛 元

● 地域公共交通調査特別委員会

人口減少や少子高齢化の進展も踏まえ、地域公共交通は重要課題と捉え、その効果的な諸施策への対応等を審議するため設置しました。

委員長 澤井 信秀 **副委員長** 小田 伸次
大森 俊和・保実 治・山村恵美子・鈴木深由希・伊藤 芳則・弓掛 元・藤井憲一郎

※特別委員会は、市の特定の問題について、審査・調査されるため設置される委員会です。

各会派の政務活動報告

本市では、「三次市議会政務活動費の交付に関する条例」により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額30,000円を会派（所属議員が1人の場合も含む。）に対して交付しています。

平成27年度支出状況（議員数：26人）

（単位：円）

会 派	真正会 (8人)	清友会 (6人)	市民クラブ (4人)	ともえ (4人)	公明党 (2人)	日本共産党 三次市会議員団 (1人)	三次志士の会 (1人)
交 付 額	2,880,000	2,160,000	1,440,000	1,440,000	720,000	360,000	360,000
執行額 計	2,579,109	2,376,861	1,480,251	1,900,593	675,911	178,269	320,597
内 訳	調 査 研 究 費	1,197,172	1,511,317	564,041	491,287	323,046	18,468
	研 修 費	17,000	65,480	19,108	103,359	55,742	0
	広 報 費	98,828	401,057	266,666	634,465	0	145,385
	広 聴 費	79,585	18,240	45,900	52,338	7,290	15,780
	要請・陳情活動費	568,874	0	0	271,414	70,060	0
	会 議 費	88,000	79,500	50,000	73,000	12,000	0
	資 料 作 成 費	42,519	119,369	9,763	37,496	2,703	0
	資 料 購 入 費	487,131	174,399	305,951	132,495	164,059	122,949
	人 件 費	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	7,499	218,822	104,739	41,011	0	
差引返還額	300,891	0	0	0	44,089	181,731	39,403

※すべての費目について、支出を証明する領収書等が添付されています。閲覧を希望される方は議会事務局までご連絡ください。

● 使途基準

調 査 研 究 費…… 市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
 研 修 費…… 研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
 広 報 費…… 会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費
 広 聴 費…… 市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、相談等の活動に要する経費
 要請・陳情活動費…… 要請・陳情活動を行うために必要な経費
 会 議 費…… 各種会議に要する経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
 資 料 作 成 費…… 資料の作成に要する経費
 資 料 購 入 費…… 必要な図書、資料等の購入に要する経費
 人 件 費…… 活動を補助する職員を雇用する経費
 事 務 所 費…… 必要な事務所の設置及び管理に要する経費

議会のうごき

2016(平成28)年
5月1日～7月31日

5月	17日	議会運営委員会
	24日	広報広聴常任委員会
6月	6日	全員協議会
	7日	6月定例会告示、議会運営委員会
	16日	議会運営委員会
	17日	6月定例会本会議、全員協議会
	20日～22日	本会議(一般質問)
	22日	広報広聴常任委員会
	23日	議会運営委員会、総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
7月	24日	広報広聴常任委員会
	27日	予算決算常任委員会、会派経理責任者会議
	29日	議会運営委員会、本会議、全員協議会
	20日	全員協議会
	22日	広報広聴常任委員会
27日～28日	広報広聴常任委員会視察	

行政視察受入状況

- 7月 6日 広島県三原市(斎場建設について)
- 8日 静岡県牧之原市(6次産業化について)
- 13日 秋田県湯沢市(行政評価の取組について)
- 14日 福島県喜多方市(地域自治組織作りの行政支援体制について)
- 26日 徳島県石井町(斎場建設について)

みよし紀行

「ワン・子岩」 甲奴町西野地区

親犬のあごの下に抱かれた子犬。甲奴町西野上地区の「自然を見守る会」が、2年前から希少植物、蝶やメダカ、ホタルなど地域の自然保護のため活動を始めた。たまたま茂った山の樹木を伐採したところ、幅10メートル、高さ4メートルの岩が現れた。まるでほほえましい親子の犬に見え、「ワン・子岩」と名付け、地域の自然とともに山の神様として大切に守っている。(山村恵美子)



あ | と | が | き

三次市議会におきましては、4月の改選を受けて、6月定例会が新しい議員構成で行われ、13名の議員が一般質問に立ちました。そのうち、3名が新人でありましたが、自分の言葉でしっかりと質問される姿を拝見すると、私が初めて一般質問に立った頃を思い出し、改めて身の引き締まる思いが

しました。

市議会だよりでは、専門的で分かりにくい言葉がよく出てきます。できるだけわかりやすい言葉で、皆さんに伝えて、議会に興味を持っていただけるよう努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。(池田 徹)

次期定例会は

9月9日(金)に開会する予定です。

🔊 議会を傍聴してみませんか

議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴される方は、当日傍聴席の入口で傍聴券を受け取って入場してください。車イスを利用される方のスペースも確保しています。

なお、傍聴席(30席)が満席となった場合は、入場を制限しますのでご了承ください。

📄 請願・陳情の提出は、9月7日(水)午後5時まで

市政についての意見や要望を直接市議会に提出する制度で、議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言います。どなたでも提出することができます。

📺 議会中継をご覧ください

ケーブルテレビにより本会議・予算決算常任委員会の生放送と、当日の夜7時から本会議の再放送をしています。

また、市議会のホームページにおいて本会議の様態をインターネット配信しています。ぜひご覧ください。

📺 市議会だよりテレビ早刷り版をご覧ください

定例会終了後、ケーブルテレビの「あっちこっち三次」に議員が出演し、毎定例会の報告を行っています。

📱 無料アプリ「i広報紙」版の議会だよりについて

無料アプリ「i広報紙」を利用してみよし市議会だよりをご覧くださいることができます。

詳しくは市議会ホームページのみよし市議会だよりのページをご覧ください。

お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110

Eメールアドレス / gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp